



2017.6.20
藤島高校図書委員会

読書界 6月号

「実写化された話」

『君の膵臓をたべたい』 住野よる (2017年7月28日公開 監督 月川翔 出演 浜辺美波)

他人には興味を持たず、孤立している僕。そんな僕が偶然病院で拾った1冊の文庫本。タイトルは「共病文庫」。それは、天真爛漫で人気者のクラスメイト山内桜良が綴っていた、秘密の日記帳だった。そこには、彼女の余命が膵臓の病気により、長くないと書かれていて……同じクラスだけど、それまで接点のなかった僕と彼女。そんな二人がこのことをきっかけにお互いがお互いを変えていく存在になっていく……ハンカチなしには読めない作品です。ぜひ読後の感慨に浸ってください。

2-1 下畑 秀明

『世界から猫が消えたなら』 川村元気 (2016年公開 監督 永井聡 出演 佐藤健 宮崎あおい)

「この世界からひとつだけ何かを消す。その代わりにあなたは1日の命を得ることができるんです。」

この本は余命わずかとなった男の、悪魔と取引をした、たった7日間を描いた物語です。作中では、彼は様々なものを消していくのですが、その度に記憶をたどり、多くの問いを考えます。自分とは？ 生きるとは？ 幸せとは？ 家族とは？…。ひとつひとつの言葉が、読者自身によって捉え方がかなり変わってくると思います。ぜひ読んで、自分なりの答えをだしてみてください。

2-1 半田 尚樹

『天空の蜂』 東野圭吾 (2015年公開 監督 堤幸彦 出演 江口洋介 仲間由紀恵 本木雅弘)

大量の爆弾を積んだまま「天空の蜂」を名乗るテロリストによって奪取された、最新の軍用ヘリコプター「ビッグ B」。そして、「ビッグ B」は福井県の高速増殖炉「新陽」の上空でホバリングしており、テロリストから日本政府に届いた脅迫状には、「全国原発の発電タービンを破壊せよ、さもなければ、ヘリを新陽に墜落させる」と書かれていた。その後、航空機の専門家や原発関係者、そして警察とテロリストとの間で激しい攻防戦が繰り広げられる…。

この作品は読者に日本国内にある全ての原発がテロの標的になりうるという事を改めて教えてくれます。また、この作品は原発問題についてより深く考えるきっかけを与えてくれているようにも感じます。ぜひ読んでみてください。

1-7 大和 寛尚